

自閉症児との音楽療法から関わりのヒントを学ぶ ～「AQR：関係の質アセスメント」を使って～

AQR (Assessment of the Quality of Relationship)：関係の質アセスメントは、関係を持つことが難しく、反応も読みづらい自閉症児と関わる音楽療法士にとって、子どもの状態を把握できるだけでなく、自分の関わり方の是非を客観的に問うことができるツールです。開発されたドイツをはじめ各国で広く用いられています。

本講演では、開発者であるカーリン・シューマッハー氏の実際の音楽療法でのビデオ映像を交え、AQR：関係の質アセスメントの根幹部分を説明します。映像は、実際に音楽療法に関わったことのない方にも、今まで自閉症児との関わりを持ってこなかった方にも、どのような状況で音楽療法がなされ、どのような変化が子どもに現れるのかを理解する助けとなり、自閉症児との関わりのヒントを得ていただけるのではないかと思います。

2019年11月4日(月・祝) 午前10時～12時
※9時30分開場

相模女子大学 マーガレット本館 2131 教室

鈴木クプスキー園子 Sonoko Suzuki-Kupski



アンブロック脳神経リハビリテーション病院 音楽療法士

1993年ザルツブルグ・モーツアルテウム大学オルフ研究所卒業、ヴィッテン・ヘルデッケ大学で音楽療法を学び1995年に卒業、音楽療法のディプロマを取得。同年より現職。2007年にAQR法の認定資格取得。ドイツ在住。

対 象：自閉症児の支援に関心のある方、当事者のご家族の方、専門家など

参加費：1,000円(当日会場にてお支払いください。)

定 員：100名(先着順、定員になり次第受付終了します。)

お申し込みとお問い合わせ：

右の二次元コード、または相模女子大学子育て支援センター HP より専用フォームから送信してください。

※荒天時の対応等、当日の緊急連絡も本フォーム上でお知らせしますのでご確認ください。

締 切：10月28日(月)午前10時

AQRと当日の講演内容の詳細や会場案内は、相模女子大学子育て支援センター HP をご覧ください。

<http://www.sagami-wu.ac.jp/features/kosodate/kensyu/>



AQR から関係の質のアセスメントと 適切な介入方法を体験的に学ぶ

本セミナーでは、午前中の講演会で解説した AQR (Assessment of the Quality of Relationship) を用いて、セラピーにおける関係の質のアセスメントを体験していただきます。主に音楽療法士など音楽を使ってクライアントとの関わりを持っている方が対象となります。実際に楽器や声を使って、参加者が子どもとセラピストになりモードごとの特性をロールプレイで試みます。モードに現れる関係の質によってセラピストの介入は全く変わってきます。子どものモードに合わせた介入をするために、まず子どものモードを的確に判断するための観察眼を養うことは重要です。音楽を関係の橋渡しとして用いる方法を実践し、AQR のベースとなる思考が、日頃のセラピーの中で自らの関係への気づきとなることを願っています。

2019年11月4日(月・祝) 13時15分～16時30分
相模女子大学 マーガレット本館 2131 教室

講師：鈴木クプスキー園子 (アンブロック脳神経リハビリテーション病院 音楽療法療法士)

対象：自閉症児の支援を行っている専門家

参加費：5,000 円 (同日 10 時～ 12 時に同会場で開催される講演会の参加費は無料となります。講演会受付にて現金でお支払いください。セミナーのみの参加はできません。)

定員：20 名 (先着順、定員になり次第受付終了します。)

お申し込みとお問い合わせ：

右の二次元コード、または相模女子大学子育て支援センター HP より専用フォームから送信してください。

※申込フォームは講演会と共通です。講演会の申し込みの時点で参加資格のある専門職名をチェックされた方には講演会のお申し込みが続いてセミナーのお申し込みができるページが開くようになっています。ご所属や具体的なお仕事の内容を差支えない範囲でご記入いただきます。

※当日本学では学園祭が行われており、学内や近隣施設は大変な混雑が予想されます。昼食はご持参いただき、会場でお取りいただくことをお勧めいたします。

締切：10月28日(月) 午前10時

AQR と当日の講演内容の詳細や会場案内は、相模女子大学子育て支援センター HP をご覧ください。

<http://www.sagami-wu.ac.jp/features/kosodate/kensyu/>

